

科目名		木造計画演習			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	演習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	大工技能検定2級の対策授業。課題を繰り返し行い技術・知識を習得。 1.原寸図の作図 2.技能検定2級の課題の制作 3.技能検定筆記試験対策				
学習目標 (到達目標)	大工技能検定2級に必要な原寸図を書き込んでいく。早く正確に目標時間(40分)で書き上げられるように繰り返し練習していく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	原寸図の制作 大工技能検定2級の課題の原寸図を書く		① 方法：プリントを使い説明し、原寸図の内容を理解し、①の項目を早く正確に作図できる。準備学習：プリントの内容(寸法値など)をおぼえる。		
2	大工技能検定の実技試験課題の制作 ①大工技能検定2級、3級の実技試験の課題を作る		方法：プリントを使い説明し、課題の内容を理解し、①の項目を早く正確に制作できる。準備学習：各部材の寸法、墨付手順をおぼえる。		
3	大工技能検定学科試験対策 ①大工技能検定2級、3級の学科試験問題の対策授業		方法：プリントを使い説明し、問題の内容を理解し、①の項目を得点できるようになる準備学習：大工技能検定3級の学科試験問題の復習		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題	取組姿勢			70 % 30 % % % 建築大工技能検定2級取得の対策として、原寸図を目標時間内に書けるようになるために技術を習得していく。繰り返し練習することでスキルアップを目指す。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	建築大工として約5年実務に携わる				